

科目名	看護解剖生理学Ⅴ 感覚・免疫系（外部からの情報取り入れるしくみ、異物を認識して排除するしくみ）				DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 人体のしくみと働き	時間数	13時間	担当 教員 外部講師・専任教員
科目概要	人体の解剖生理学の知識は、看護の重要な役割である日常生活行動の援助の土台となる。また、ほとんどの日常生活行動は、複数の器官が関与して行われる複雑な機能であり、生活行動の観点から学ぶ。ここでは、感覚・免疫系の解剖生理から外部からの情報取り入れる、異物を認識して排除するしくみを学ぶ。					
到達目標	1. 外部から情報を取り入れるしくみを理解することができる。 2. 異物を認識して排除するしくみを理解することができる。					
回数	単元項目	授業内容			形態	担当教員
1～3	感覚の特徴 視覚	適合刺激、刺激への順応、感覚情報の大脳皮質への投射、感覚と反応、五感とは、眼球の構造と機能、血管系、付属器、視覚の伝導路、視覚の調節系、色覚とその異常、視覚の変化			講義	専任教員
	聴覚と平衡覚	耳の全体構造、聴覚器の構造と機能、平衡覚器の構造と機能、聴覚の変化				
	化学的感覚 (嗅覚と味覚)	嗅覚と嗅覚受容器、味覚と味蕾				
	皮膚（体性感覚） 内臓感覚	体性感覚と皮膚分節、深部感覚、体性感覚の上行性伝達路 内臓感覚、内臓痛覚、内臓感覚の上行性伝導路				
4～6	免疫系のしくみとはたらき	免疫反応とは、免疫反応のしくみ			講義	外部講師
	症状と病態生理	免疫疾患としてのアレルギーと膠原病、アレルギー、膠原病				
	アレルギーと膠原病	アナフィラキシー、薬物アレルギー、食物アレルギー、主な膠原病				
7	試験	(1時間)			試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。					
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。					
教科書	新看護学1 専門基礎 [1] 人体のしくみとはたらき 新看護学11 成人看護 [3] 腎・泌尿器 女性生殖器 皮膚 アレルギー・膠原病 感染症 必要時、資料等は配布する。					
履修上の 注意点						